

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2020.1.1 ~ 1.31)

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』736号(2020年2月)

□図書受入

	和 書	洋 書	計
購 入	30	12	42
受 贈	0	1	1
合 計	30	13	43

□閲覧サービス

閲覧

開館日数	17日
閲覧者数	6名
貸出図書	39冊

コピーサービス

学外	4件	2,052枚
学内	1件	24枚

日 誌

- 8日 冬季休業明け
所員会議
兼任研究員募集
- 14日 HOSEI ミュージアム(大学史)撮影(対応:
中村美香)
- 15日 OISR.ORG サイト制作者との打ち合わせ
事務会議
兼任研究員面接
- 20日 HOSEI ミュージアム開設準備委員会, 法政大
学出版局打ち合わせ(榎)
見学: 原タマラ氏他1名(対応: 中村美香)
- 22日 兼任研究員面接
- 23日 練馬区美術館貸出資料搬出(対応: 中村美香)
- 26日 「貧困と世論」共同プロジェクト研究会(於:
首都大学東京秋葉原キャンパス)
報告: 山田壮志郎(日本福祉大学社会福祉学
部准教授)
- 28日 研究所長会議
- 29日 運営委員会

議題①兼任研究員の公募と選考結果について

②その他

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会

月例研究会

伊東久智(千葉大学大学院人文科学研究院助
教)「青年」運動史研究と男性史研究の架橋:
第一次大戦後における学生社会運動を事例と
して」

30日 大原社会政策研究会(第66回)

遠藤希和子(立正大学社会福祉学部助教)「高
齢社会のハウジング——Aging in Place の可
能性を考える」

大原社会問題研究所雑誌

No.739(2020年5月号)

2020年5月1日発行

定価(本体926円+税), 年間購読12,000円(税込)

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所

編集長 藤原千沙

所 長 鈴木 玲

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

電話 042(783)2305

投稿募集

『大原社会問題研究所雑誌』は、社会労働問題に関する学術研究雑誌で、「論文」「資料紹介」「調査報告」の投稿を受け付けております。下記の投稿規程と執筆要領に基づいてご投稿ください。規程と要領に沿わない原稿は受理できません。[2019.10.1 改定]

投稿規程

1. 投稿原稿はワープロ・パソコン作成による未発表のものに限ります。
2. 投稿原稿の分量は、原則 20,000 字以内（図表・スペースを含む）です。
3. 投稿原稿は、審査用原稿となりますので、本文や注などで執筆者が特定される記述をしないでください。1 ページ目は、原稿の題目に続けて無記名で本文に入ってください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。「論文」は審査の結果、「研究ノート」となることがあります。
5. 掲載原稿には、掲載誌 2 冊と抜刷 30 部をさしあげます。
6. 投稿者は、次の各 3 部を下記宛てに郵送してください。

A：投稿原稿（審査用原稿）

B：投稿原稿の要旨（1,000 字程度）

C：表題紙

C の表題紙に記載する事項は、投稿原稿の、①題名、②目次、③分量（図表を除く文字数（スペースを含める））、④図表の有無と数、⑤著者の氏名（よみがなを併記）、⑥肩書き（所属・職名、大学の場合は学部等まで）、⑦略歴、⑧連絡先（郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス）です。

7. 投稿者は、投稿原稿の郵送後、B：投稿原稿の要旨、C：表題紙を、下記宛てに電子メール（もしくは FAX）で送信してください。件名は【投稿(お名前)】としてください。

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会宛

【郵送先】〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学大原社会問題研究所

【メールアドレス】ohara-journal@hosei.ac.jp 【FAX】042-783-2311

投稿原稿 執筆要領

1. A4 判の横書き、40 字×40 行、下部にページ数を付し、白黒・片面で印刷する。
2. 原則として、数字は算用数字、句読点は「、」と「。」を用いる。
3. 本文の各節には「.」のない 1 2 …を用いる。
4. ワードプロソフトによる脚注の挿入機能は使用してよい。
5. 図表は、白黒印刷できるものを提出する。本文には余白に【表 1】等と挿入場所を指定し、図表そのものは別紙に一括し、通し番号をつける。図表の文字換算数は定めないが、審査にあたっては、図表の大きさで全体の分量を概算する。
6. 参考文献は、著者名・発行年・論文名・雑誌名（書籍名）・巻号（出版社）・雑誌の場合は頁数を記述し、著者名（姓）のアルファベット順または五十音順に記載する。ただし他の記載方法も可とする。

【記載例】

榎一江（2017）「近代日本のパターナリズムと福利施設」『大原社会問題研究所雑誌』705 号、29-43 頁。

原伸子（2015）「イギリスにおける福祉改革と子どもの貧困——「第三の道」と社会的投資アプローチ」原伸子・岩田美香・宮島喬編『現代社会と子どもの貧困——福祉・労働の視点から』大月書店。

Suzuki, Akira (2016) “Japanese Labour Unions and Nuclear Energy: A Historical Analysis of Their Ideologies and Worldviews,” *Journal of Contemporary Asia*, Vol.46, No.4, 591-613.



有斐閣出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17/Tel:03-3265-6811
http://www.yuhaku.co.jp/
(表示価格は税別。消費税込みの金額が定価です。)

◎図書目録送呈◎

生活保障のガバナンス

大沢真理著 ● ジェンダーとお金の流れで読み解く 一九八〇年代以降の生活保障システムを分析し、日本の社会・経済の脆弱性を明らかにする。
「生きにくさ」とジェンダーの関わりを明らかにする。
二〇一四年刊
三七〇〇円

最低生活保障の実証分析

山田篤裕・駒村康平・四方理人・田中聡一郎・丸山桂著 ● 生活保護制度の課題と将来構想 生活保護制度を中心とする日本の最低生活保障の現状と政策変更の影響を、独自の調査を含む大規模データに基づき定量的に分析。今後の最低生活保障のあり方を探る。
二〇一八年刊
二九〇〇円

生活保障と貧困対策

岩永理恵・卯月由佳・木下武徳著 ● その可能性と未来を拓く 生活保護をめぐるさまざまな誤解を解きほぐし、よりよい制度・社会の構築へと議論をつなげる。他国と比較する視点等を提示する。
二〇一八年刊
一八〇〇円

地域福祉マネジメント

平野隆之著 ● 地域福祉と包括的支援体制 包括的支援体制構築へ向けて自治体が、地域住民や多様な機関との協働による地域福祉をいかに実現するか。その可能性を明らかにする。
二〇一〇年刊
二六〇〇円

はじめての社会保障 第17版

棕野美智子・田中耕太郎著 ● 福祉を学ぶ人へ 信頼できる最新情報と、叙述のわかりやすさが好評のロングセラー・テキスト。年金生活者支援給付金、健康保険の被扶養者の要件等を加筆。
二〇一〇年刊
一八〇〇円

問いからはじめる社会運動論

濱西栄司・鈴木彩加・中根多恵・青木聡子・小杉亮子著 気候サミットと世界中で呼応した若者のデモは記憶に新しい。近年あらためて注目をあつめる社会運動について研究する方法を探る。
二〇一〇年五月刊予定
二〇〇〇円

社会運動の現在

長谷川公一編 ● 市民社会の声 反原発、反ヘイトスピーチ、ハラスメント対策など、さまざまな社会運動を総覧できる基本テキスト。海外の事例と比較すること、日本の社会運動を相対化し、課題を分析する。
二〇一〇年刊
三五〇〇円



アメリカの医療政策と病院業

● 企業性と公益性の狭間で 高山一夫 著 ● 5500円

米国の病院業を対象に、企業性と公共性との対抗関係に焦点をあて、その形成と展開過程を医療政策との関係を変えて分析した通史。産業分析と政策評価に関する貴重な研究であり、日本の公共性を有する民間事業のあり方や制度設計等に示唆を与える。

- | | |
|--|---|
| 序 課題と分析視角 | 7 無保険者問題の深刻化と病院業の公共性
「コミュニティ・ヘルス・ネットワーク」を
めぐる政策展開を中心に |
| 1 アメリカの医療制度と政策展開 | 8 オバマ政権の医療制度改革と病院業
「ACO」の現状とSNPへの影響
を中心に |
| 2 アメリカの病院業と医療産業の全体像 | 9 トランプ政権の医療制度改革と病
院業の現状
総括と展望 |
| 3 連邦医療計画の始まりと非営利病院
システムの形成ー1946年病院
調査、建設法を中心に | |
| 4 医療政策の展開と病院業の発展 | |
| 5 医療費抑制政策と病院業の再編 | |
| 6 マネジメントの台頭と非営利病院の変貌
「マサチューセッツ州における現
地調査結果を事例に | |

知的障害者家族の貧困

● 家族に依存するケア 田中智子 著 ● 3600円

家計を切り口に、知的障害者家族の生活を分析し、障害ケア・貧困の構造的関連性を考察。障害者本人の収支調査や母親12人へのインタビューを通して、ケアの役割を担う母親の生活問題を明らかにする。

- 第1章 障害者家族のケアと自立をめぐる議論
- 第2章 知的障害者家族の家計の把握
- 第3章 知的障害児の生計費と世帯の家計構造
- 第4章 知的障害者の生計費と世帯の家計構造
- 第5章 ケアに引き寄せられる母親たちー就労をめぐる諸相からの考察
- 第6章 知的障害者家族の貧困ー障害・ケア・貧困の構造的把握に向けて

世界の病院・介護施設

加藤智章 編 ● 3600円

日・独・仏・英・豪・韓の医療・介護の供給体制を国際比較的に検証。各国に共通する、財政抑制の一方で質とアクセスの担保という相矛盾する課題をどう克服するのか。政策を包括的に考察、提示する。

法律文化社

京都市北区上賀茂岩ヶ垣内町71 ●表示は税抜価格
https://www.hou-bun.com/

大原社会問題研究所

100

周年記念

●体裁
●揃定価
●解題

A3判・上製・総約1,000頁
本体250,000円＋税

福家崇洋（京都大学人文科学研究所准教授）

立本紘之（法政大学大原社会問題研究所研究員）

杉本弘幸（京都府立京都学・歴史館研究員）

※今回の解題は「無産政党資料研究会」の成果に基づく

日本憲政史初の第三極！1930年代、「反ファッショ」の期待を背負いながら、
挙国一致へと進んだ政党の歩み――

社会民衆新聞 社会大衆新聞

1927年―1940年

復刻版 全5巻

1932年に全国労農大衆党と社会民衆党が合同し、結成された社会大衆党。
「反ファッショ」の期待から、1937年の総選挙にて37議席獲得、日本憲政史
上初の第三極となった。しかしその後、日中戦争支持、挙国一致体制へと突き進
んだ同党は大政翼賛会へと合流していった。

「革新」の名のもとに同党が背負った大きな期待とは何だったのか。既存政党へ
の不信感がつる現代に何を語るのか。昭和戦前期における社会・政治を考え
る必須史料を、その前身である社会民衆党の機関紙とあわせてついに復刻！

本資料を推薦します

有馬 学（福岡市博物館館長）

「社会党的なるもの」の歴史的起源を追求するこ
とは、社会大衆党にいたる戦前・戦中の無産政党的
歴史を、社会運動史という狭い枠組みから近代日本
の政治社会史に解き放つことで達成されると思う。
『社会民衆新聞』『社会大衆新聞』の復刻は、そのため
の強力な情報源となるであろう。

加藤陽子（東京大学大学院人文社会系研究科教授）

社会民衆党と社会大衆党の詳細な動向を追える
本資料集は、当該期の国家と社会に関心を持つ全て
の人に有益であり、一読を強く薦めたい。

▼第1回配本

- 第1巻 社会民衆新聞
1927年～1929年 A3判 210頁
第2巻 社会民衆新聞
1929年～1932年 A3判 218頁
2020年1月刊行 ISBN978-4-86691-213-4
本体揃価格100,000円＋税

▼第2回配本

- 第3巻 社会大衆新聞
1932年～1937年 A3判 194頁
第4巻 社会大衆新聞
1937年～1939年 A3判 192頁
第5巻 社会大衆新聞
1939年～1940年 A3判 192頁
※巻末に解題・総目次・索引を付す
2020年12月刊行 ISBN978-4-86691-217-2
本体揃価格150,000円＋税

(株)三人社

〒606-8316 京都市左京区吉田二本松町4 白亜荘 電話 075-762-0368
FAX. 075-762-0369 <http://3ninsha.blog.fc2.com/>